

次なる 10 年に向けて

2024 年 7 月 1 日に、わが国で市民が AED を使えるようになって 20 周年の節目を迎えたことを踏まえ、AED20 周年記念企画実行委員会を設立し、「まず呼ぼう、AED」という標語のもとに、さまざまな AED 普及啓発キャンペーンを展開しました。

1 年間の活動を締めくくるにあたり、次の 10 年に向けた目標を定め、どのような社会を築いていくべきか、話し合い、以下のようにまとめました。

私たち実行委員会のメンバー一同は、思いを同じくする仲間とともに、AED を活用して更に多くの人々の命を救える未来を目指して、活動を発展させていく所存です。引き続き、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

2025 年 8 月 23 日

AED20 周年記念企画実行委員会

共同委員長 三田村秀雄

横田 裕行

次なる 10 年に向けた 5 つの目標

誰かが突然倒れたら、市民の誰もがすぐに AED を呼び、すぐに AED が届き、
救える命を救える社会を実現するために、

具体的な目標：

- 1) 目の前で人が突然倒れたら、誰もが 119 番と AED を呼ぶ
- 2) AED が配備され、定期訓練が行われている場所や施設（※1）では、3 分以内に AED を使用できる
- 3) 小学生以上のすべての国民に、AED を用いた正しい救命処置を学ぶ機会がある
- 4) 全国の AED 設置場所を網羅した AED マップを常時活用できる
- 5) 救命のために行動を起こしたすべての人が称賛される

※1：学校、スポーツ現場、駅、会社内など